#### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

[ + x / 1 / 1 / 2   1					
事業所番号	2170101436				
法人名	特定非営利活動法人 さわやか福祉ネットワークぎふ				
事業所名	グループホーム柳ヶ瀬				
所在地	地 岐阜市金町4丁目28番地				
自己評価作成日	平成29年9月15日	評価結果市町村受理日	平成29年11月29日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action.kouhyou.detail.2016.022 kani=true&JigvosvoCd=2170101436-00&PrefCd=21&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

	評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
	所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
I	訪問調査日	平成29年10月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・食事は全て手作りで提供します。季節の物を取り入れ利用者の希望に沿った献立を考慮しています。・医療依存度の高い利用者でも病院の付き添いや送迎介助の手伝いを行い、希望があれば安心して看取りを行う環境が整っています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所には、勤務年数が長い職員が多く、看取りまでを視野に入れて、支援を行っている。食事に関しては、「命をつなぐ食」と捉え、利用者の喜ぶ顔が見たい一心で、労をいとわず、全て職員の手作りで提供している。民家を改造したホームで、段差もあり、十分な広さが無い環境であるが、それらを逆に、利用者の力を引き出すための利点と捉え、生活リハビリに活かす支援として取り組んでいる。また、柳ケ瀬という広い商店街に立地している環境から、職員のフットワークの良さを活かし、外出の機会を多く持つことが出来ている。まさに、職員・利用者が共に支え合い、家族のような関係が育まれているホームである。

٧.	Ⅵ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
	項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目	↓該	取り組みの成果 当する項目に〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	O 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	2. 利用者の2/3くらいか 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている	1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが				

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

# 自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。]

				(E) (Aid )   (Elicity ) ( 9 %)		
自	外	項目	自己評価	外部評価	ī	
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
1	甲念	に基づく運営				
		〇理念の共有と実践 地域密差型サービスの音義をふまえた事業	ミーティング等で話し合い、地域との関係の 継続を図っています。行事に参加した時は ホームの一員として自覚を持ち恥じない行動 を心懸けています。	「出会い・ふれあい・学びあい」を理念とし、外出・散歩で人と「出会い」、出会った場所で「ふれあい」、利用者同士、利用者と職員、利用者と地域の人が支え合う生活で「学びあい」があり、理念の実践を確かなものにしている。		
2		〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	高島屋や商店街へ一緒に買物に行きます。 地域の行事に参加しています。	地域で出来、日常生活が地域とつながっている。 昨年、同法人のグループホームが事業所の	ボランティアの受け入れが少ない実情 にあるが、数名の利用者の外出時に、	
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知 症の人の理解や支援の方法を、地域の人々 に向けて活かしている	運営推進会議では町内の自治会長、民生委員の方々に参加して頂いて利用者の暮らしぶりや認知症の理解等発信しています。			
4	(3)	際、評価への取り組み状況等について報告	利用者の困難事例等話し合いをして意見や アドバイスをもらいサービスに反映していま す。地域や入所者の情報交換をします。	隣接のグループホームと合同で、運営推進会議を行っている。双方の運営状況を報告し、互いの取り組みを分かち合い、それぞれの運営に活かしながら、単独で行っていた時より合同会議のメリットを生み出している。		
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事 業所の実情やケアサービスの取り組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように取り 組んでいる	運営推進会議の参加、利用者状況報告、介 護保険制度についての相談や情報提供等 協力していただいています。	地域の独居高齢者の相談や、生活保護についての対応等で行政と連携し、利用者が地域で安心して暮らせるよう、協力関係を築いている。また、担当者がホームに立ち寄るなど、顔の見える良好な関係にあり、市民後見の利用等、認知症高齢者の権利擁護に努めている。		
6	(5)	玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケア に取り組んでいる	ミーティングで拘束を行わないケアを話し合います。医師、家族と連携して必要な時は同意を得て行います。	身体拘束をしないケアに取り組み、医療的に必要な場合は、医師の指示と家族の同意を得て、 短期間の行動制限をすることはある。利用者と 交わす言葉も、時には指示的になることもある が、信頼関係があっての対応である。		
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法に ついて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事 業所内での虐待が見過ごされることがないよ う注意を払い、防止に努めている	さないようにしています。職員ミーティングで			

	外		自己評価	外部評価	i
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それらを 活用できるよう支援している	市民後見制度2名、社会福祉協議会の自立 支援事業3名それぞれ利用されています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分 な説明を行い理解・納得を図っている	面談の中で本人の希望を聞きだし不安点が 無いように対応しています。リスクの説明もし ます。		
		りを連出に及吹させている	面会時や会議に参加していただいた時に要 望を聞きます。	今年、3人の利用者の入れ替わりがあり、一時期、安定している利用者への関わり時間が十分に持てない状況にあったが、昨年度の課題であった家族への報告等について、取り組みを行い、個別連絡や面会等でも意見を吸い上げ、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段から意見交換をしています。提案に対し てはミーティング時に報告します。	管理者、ケアマネジャー、介護職員がフラットな関係であり、特段、会議の場でなくても、いつでも何でも言い易い関係性が出来ている。また、勤務年数が長い職員が多く存在しており、利用者の喜ぶ顔が見たいとの思いが、ケアに一貫して表われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時 間、やりがいなど、各自が向上心を持って働 けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス制度を活用して年に1度評価を 行い、給与に反映させています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケア の実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニング していくことを進めている	個人のスキルアップのため研修や資格取得 を進めています。研修費の支援を行います。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流す る機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、 相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を 向上させていく取り組みをしている	協議会のメンバーと情報交換して分からない 点等教えてもらいます。		

自	外	75 D	自己評価	外部評価	i
己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安	ξıĽ\	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		に努めている	利用者の面談、情報収集に努め本人のニーズに合った支援が出来るように取り組んでいます。		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困って いること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、関係づくりに努めている	家族との面談にて要望等理解してホームとし てどのように対応していくか検討しています。		
17		3	出来ることはすぐに対応して、困難事例につ いては関係機関と相談して対応しています。		
18			利用者が今まで培ってきたことから学ぶこと もあり、お互い支え合う関係を築くようにして います。		
19			病院への送迎や入退院時の支援、買い物援 助等手伝ってもらうこともあります。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に努 めている	入所前のなじみの喫茶店や理容院、友人宅 への送迎支援を行います。	既知の店主・店員のいる老舗や、常連が来る喫茶店で昔話をしたり、馴染みの商店街を歩き、本人のこれまでの生活の記憶を振り返ることができる支援を行っている。本人が希望する場所や、会いたい人への送迎支援も、日常生活の中で行われている。	
21			個人に合わせた対応をしています。トラブル が起きないように調整を図ります。		

自	外	70 711 A 1917 A 191	自己評価外部評価		i I
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまで の関係性を大切にしながら、必要に応じて本 人・家族の経過をフォローし、相談や支援に 努めている	以前利用者の家族の方がホームを訪れてく れるケースもあります。相談があれば必要に 応じて対応してます。		
${ m I\hspace{1em}I}$ .	その	人らしい暮らしを続けるためのケアマネジ	メント		
23	(9)	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の 把握に努めている。困難な場合は、本人本位 に検討している	食事や外出の希望を尋ねて出来るだけ対応 できるように支援しています。意思表示の難 しい利用者には推し量り判断します。	新規利用者には、アセスメント内容や家族からも聴き、その人の思いや意向の把握に努めている。長期利用者には、これまでの暮らしの様子から、性格も人柄も分かっており、本人の状況に合わせたコミュニケーションのとり方で、要望や意向を把握している。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生 活環境、これまでのサービス利用の経過等 の把握に努めている	家族からの情報、日常の利用者の会話でニーズの把握に努めます。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有 する力等の現状の把握に努めている	声かけを多くしてコミュニケ―ションを取り様 子を見守ります。		
26	(10)	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあ り方について、本人、家族、必要な関係者と 話し合い、それぞれの意見やアイディアを反 映し、現状に即した介護計画を作成している	て話し合います。往診時の医師の助言、訪	段差があり、十分な広さが無い環境を、利用者の力を引き出すための利点や資源と捉え、「自分で出来ることは自分でしてもらう介護」で、生活リハビリを中心とした介護計画になっている。本人、家族、往診の医師や訪問看護師の意見を反映させて作成し、見直しも現状に即して対応している。	個別ファイルに介護計画や個人記録、 医療受診結果、領収等が納めてある。 書類の整理と、全て手書きになってい る記録に一部チェック式を取り入れるな どして、見やすく書き易い記録の工夫 が望まれる。
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工 夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共 有しながら実践や介護計画の見直しに活か している	日々の感じたことを個人記録に記入しています。申し送り時、ミーティング時に話し合いケアプランに反映させています。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別支援を重視して泌尿器科、歯科、整形 外科,皮膚科等の専門医療機関への受診支 援を行います。		

自	外	<del>4</del> -	自己評価	外部評価	
三	外部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を 把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全 で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援 している	商店街の散歩やオレンジカフェやふれあいカフェの参加を定期的に行ないます。		
30		〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、 納得が得られたかかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医療を受けられるよ うに支援している	本人の希望により入所前のかかりつけ医を 利用する方もみえます。嘱託医とは24時間 対応です。	協力医の往診と訪問看護があり、常に情報を共有し、利用者の体調管理が行われている。整形外科や皮膚科、歯科等の専門医療の受診が必要になった時は、職員が送迎介助している。ケアマネジャー職員のフットワークの良さが、利用者の安心につながっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報 や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師 等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な 受診や看護を受けられるように支援している	月2回の訪問看護を受け緊急時の対応について指導していただき、確認をします。タブレットで情報共有しています。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	専門医への定期的な受診で状態把握をして もらい嘱託医とともに連携しています。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、 早い段階から本人・家族等と話し合いを行 い、事業所でできることを十分に説明しなが ら方針を共有し、地域の関係者と共にチーム で支援に取り組んでいる	基本方針を説明して、最終的には医療機関と家族、ホームで方針を共有します。	在宅看取りを数多く手掛けている協力医の下、 家族と終末期の支援方針を共有し、ホームで可 能な医療行為と看取りが行われている。看取り に伴う職員のメンタル面もチームワークの良さで 乗り切っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてミーティング時に話し 合いをして、マニュアルの確認を行います。		
35			年2回の避難訓練を行います。防災グッズの 定期的な入れ替え、利用者、スタッフとの シュミレーションを行います。スプリンクラー の設置をして消防への通報装置設置は年内 に行います。	昨年の課題であった地域との協力関係づくりについて話し合いを進めている。運営推進会議でも話し合い、地域の避難場所の確保や、防災グッズがすぐに持ち運べるよう、個別リュックにして管理をしている。建物の老朽化と狭い環境を意識し、合同の避難訓練は危機感を持って実践している。	

自	外部	·	自己評価	外部評価	i
		項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		人らしい暮らしを続けるための日々の支持	爱		
36			耳の遠い方も多く、また言葉かけに対して認知出来ない利用者もいるので声が大きくなりがちです。内部研修で振り返り気を付けるようにしています。	利用者との会話が、馴れ合い的な場面も見られるが、長年培った信頼関係があっての対応であり、基本は利用者を尊重した言動で支援している。排泄や入浴時の介助スペースが十分にはない環境の中にあるが、プライバシーを損ねない対応で支援に努めている。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている	対話を大切に傾聴しています。話しやすい雰 囲気づくりに気を付けています。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースを大切にし、その日を どのように過ごしたいか、希望にそって支援し ている	各自のペースに合わせた時間配分を行います。食事のメニューについて話をしたり外出 希望等がないかを尋ねてその人に合った支援をします。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができる ように支援している	着用したい衣服を自分で選ばれる方もいますし、スタッフが用意したものを着直す方もいます。		
40		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの 好みや力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準備や食事、片付けをしている	応しています。季節感にも気配りして作って	冷蔵庫にある食材で献立を考え、朝、昼、夕の 三食とも職員の才覚による手づくりの食事であ る。美味しさと量は申し分なく、行事の際は特別 メニューで利用者の満足度も高い。職員も一緒 になって食卓を囲み、「命をつなぐ食を大切にす る」職員の意気ごみと労力は評価したい。	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や カ、習慣に応じた支援をしている	基本的には10時15時に水分補給を行い、個別に対応もしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じ た口腔ケアをしている	ポリデントや口腔ケアスポンジの利用など個別に合わせたケアを行います。定期的な歯科受診の支援を行います。		

~ 1 713		ルンハーム物ノ根			
自	外	<del>4</del> [	自己評価	外部評価	
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43 (		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひ とりの力や排泄のパターン、習慣を活かし て、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支 援を行っている	日中の失禁が軽減できるように早めの声かけをしています。立ち上がり等が難しい方は 夜間ポータブルトイレを使用しています。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導や声かけをしている。トイレでの排泄が維持できるよう、生活リハビリや外出をすることで、足腰の機能低下を防ぐよう努めている。利用者自身が失禁を恐れ、水分摂取を控えることのないよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物 の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じ た予防に取り組んでいる	体操や散歩を取り入れスタッフ同士が確認 表を見て対応しています。		
45 (		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入 浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時 間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援 をしている	週3回を基本に体調によって柔軟に変更、また2人介助で対応もしています。	午後を入浴時間帯に充てているが、回数も含めて柔軟な対応で支援している。重度の利用者には職員2人介助で、安心安全な入浴支援となっている。また、利用者の満足した顔がみたいという思いが、職員の頑張りの原動力になっている。	
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に 応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れ るよう支援している	体力が低下している人には入浴を考慮したり 午後から希望者には休んでもらうように勧め ています。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解しており、服薬 の支援と症状の変化の確認に努めている	1人ひとりにファイルを作成して管理しています。服薬時に飲み忘れがないか確認します。		
48			1人で過ごしたい方、談話室で皆と一緒にいたい方それぞれに合わせた過ごし方をしてもらいます。音楽療法等の行事には全員参加してもらうようにしています。		
49 (		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に 出かけられるよう支援に努めている。又、普 段は行けないような場所でも、本人の希望を 把握し、家族や地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援している	商店街、神社等への散歩、柳ケ瀬でのイベントの参加や祭りのパレード見学等支援しています。	食材調達の買い物を、利用者と一緒に行ったり、商店街でのイベントや認知症カフェへの参加等、立地の良さを活かし、日常的に外出の機会を多く提供している。ホームから外へ出ることで、生活のメリハリにもなり、理念の実践につながっている。	

以干力	下 ノ	ルーノホーム柳ク瀬			
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	i
一己	部	<b>クロール クロール クロール クロール クロール クロール クロール クロール </b>	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理 解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるように支援している	外出時に自分で支払いをされる方もいます し、お任せで買い物をされる方もいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、 手紙のやり取りができるように支援をしてい る	希望があれば家族と直接電話されることもあ ります。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、 浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度 など)がないように配慮し、生活感や季節感を 採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫を している	季節の花を用意します。自分で花を選んでもらい、花を活けて飾ることもあります。飾りつけは利用者と一緒に行います。	民家を改造したホームで、傾斜と段差があり、 廊下は車椅子がぎりぎり通れる幅であるが、共 用空間の限られた広さは整理、整頓で使い方を 工夫し、利用者同士が肩を並べて支え合う生活 の場になっている。台所兼食堂は、利用者と職 員が食卓を囲み、大家族の雰囲気が生まれて いる。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合っ た利用者同士で思い思いに過ごせるような居 場所の工夫をしている	部屋にいたい時と談話室にいたい時と本人 の希望を優先させています。		
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と 相談しながら、使い慣れたものや好みのもの を活かして、本人が居心地よく過ごせるような 工夫をしている	昔から大切にしているものや自分で作った作 品を飾り付けしています。	居室は、畳敷きの部屋やフローリングの部屋、 間取りも全部違う個室である。利用者一人ひと りのプライベートな空間として尊重し、本人の大 切にしてきた物品や作品を配置し、落ち着いて 過ごせる居室づくりを行っている。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わか ること」を活かして、安全かつできるだけ自立 した生活が送れるように工夫している	手摺や床材など必要に応じて相談して対応 しています。		